様式1

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(公益・特別法人用)

【対象決算年度:令和元年度】

1 団体の概要

団 体 名 長野県信用保証協会 (所在地) 長野市大字南長野県		町597-5)			代表者	会長 石原	秀樹			
設立根拠 信用保証協会法						県所管部局 (課)	産業労働部(産業立地・経営支援課》		
設立の沿革				設立目的(寄付行為・定款上)						
S24 社団法人として設立 S25 財団法人として設立				中小企業者のために信用保証の業務を行い、もってこれらの者に対する金融の円滑化を図ること。						
S29 信用保証	協会法に	基づく特殊	法人に	具体的な	事業内容					
組織変更				・中小企業者が銀行その他の金融機関から事業資金の貸付等を受ける際、その貸付金等の債務を保証すること。・上記債務に係る代位弁済。・債務の保証に係る中小企業者に対する経営の改善発達に係る助言や支援。事業執行状況を示す主な指標						
						保証承諾	保証債務残	高 代位弁済		
					H27	240,620	547	,002 4,5	70	
					H28	212,504	519	,986 4,5	79	
					H29	181,284	482			
					H30 165,552 442,942 4,859 H31(R1) 178,355 428,147 5,119 (単位:百万				1	
					H31(R1)	178,355	428	,147 5,1	(平位:日7月)	,
基本財産(円)	44,774,	928,286	うち県の出 捐額(円)	4,504,7	64,000	県出捐率(%)	10.0%	市町村 49 地方銀行 86	·出捐額(円) 0,803,996円 8,920,100円 1,093,830円	·出捐率(%) 1.1% 1.9% 1.4%

*役職員数は各年度4月1日現在

	年	度	H28	H29	H30	R1 (H31)
		常勤	5	5	5	5
	役 員 数	うち県職員	0	0	0	0
役	仅 貝 奴	非 常 勤	13	13	13	13
職		うち県職員	1	1	1	1
		常勤	128	130	131	130
員	職員数	うち県職員	0	0	0	0
数		非 常 勤	0	0	0	0
	常勤	助職員計	133	135	136	135
	非常	勤職員計	13	13	13	13
	県職員計(非常勤役員除く)	0	0	0	0

*次表は令和元年度の状況。()内は平成30年度

(単位:千円、%)

. ,	(3)(18 17 11 71 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	D(DE0 () 1 110	× 1 /2000 1	IX.						\ + 1	7. 1 1 1 1 1 70/
収	経常収益(A)			5,061,777	(5	(5,288,880)		補助金		0	(0)
益等	経常費用(B)			4,189,777	(4,426,073)		県		事業費	0	(0)
十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	経常損益(A)-(B)			872,000		(862,807)			運営費	0	(0)
況	当期損益			510,702		費交付金		付金	0	(0)	
財	公益事業比率	0.0	(0.0)	正味財産比率	13.2	(12.8)	337	負担金		0	(0)
務	経常比率	104.4	(105.9)	流動比率	117.9	(117.2)	受	委	託料	0	(0)
~ 次	人件費比率	21.2	(20.9)	固定比率	5.4	(5.5)	入	貸	付金	0	(0)
資 産	管理費比率	44.1	(44.8)	固定長期適合率	4.5	(4.6)	状	出	捐金	0	(0)
関	事業支出伸び率	△ 5.3	(△2.5)	借入金依存率	0.0	(0.0)		損	失補償年	0	(0)
係	補助金等比率	0.0	(0.0)				況	度	末残高	U	(0)
指標									件費関係費 (再掲)	0	(0)

民間(NPO含む)との競合状況

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針業務の効率化

	改革基本方針	実 施 状 況			
実施年月		実施年月			
H16.6.10	改革基本方針策定 「制度的な制約を解消した段階で長野県農業信用 基金協会と統合」	H16.6.17 H20.1.4	長野県が経済産業省(中小企業庁)に制度改正を 提案 →中小企業庁:改正予定なし 業務効率化のため、全国の21協会と電算システム の共同化を開始		
H20.1.18	改革基本方針改訂 →「現在の体制で事業の効率化を図る」 改革基本方針改訂 →「事業の効率化」	H22.4.1 H25.4.1	「経営支援室」設置、管理部門を県下2か所(長野、松本)から4か所(長野、松本、上田、飯田)に拡充。 「総務部」を「総務課」及び「企画情報課」の2課に、保証統括部を「保証統括課」、「保証事務課」及び「経営支援課」の3課に(従前3課1室)、機構改革を実施		
		H30.4.1	「経営支援課」を「経営支援統括室」に、「監査室」を「コンプライアンス統括室」とし、県下4か所の管理部門を県下8か所とし、関連会社保証協会サービサー上田出張所を廃止する機構改革を実施した。また、「松本支店」を「松本営業部」へと呼称の変更を実施した。 関連会社保証協会サービサー松本出張所を廃止		
	1	R2.3.31	関連会社保証協会サービサー長野営業所を廃止		

経営計画等の策定状況

·年度経営計画並びに3年に一度は中期事業計画を策定。

情報公開の取組状況

・情報公開実施要領に基づき、事業報告書及び年度経営計画等を公開(ホームページ、広報誌等)。

監査等結果

・内部定期監査を実施した結果、正確かつ適正であることが確認されている。

団体の課題等

〔団体記載欄〕

然災害時や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停 滞などの経済危機時において信用収縮の事態を回避し、中小企 業の事業継続を支えていくセーフティネット機能を発揮し、中小企 業者の資金繰り安定と自然災害時の復旧・復興に貢献していく。

・事業が軌道に乗るまでの見通しが立てにくい創業期の中小企業 者を重点的に支援するため、経営支援統括室内に「創業支援グ ループ」を設置し、各部署と連携しながら効果的な支援に努めてい る。また、関連会社の保証協会サービサー長野営業所、松本出張所 を閉鎖し、近隣店舗で代位弁済後の相談に直接応じることができ る体制を構築した。

・今後も中小企業者のパートナーとして、ご利用いただくお客様の 視点にたった質の高いサービス提供をすることで、県内経済の振 興と発展に寄与していきたい。

〔県記載欄〕

・県内各地で大きな被害をもたらした令和元年東日本台風等の自 |・新型コロナウイルス感染症の影響による中小企業者の資金需要 に対し、信用保証協会に求められるセーフティネット機能を発揮し、 中小企業者の事業継続・雇用維持を図る必要がある。

また、中小企業者のライフステージに応じた資金繰り支援だけで なく、金融機関等と連携した経営の改善発達支援が求められる。

【財務の状況】(公益・特別法人用)

団体名: 長野県信用保証協会

(1) II	味貝	オ産増洞	試計算書	L		(単位:千円)
				平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経常	常増減の	部			
		経常収	益 (A)	5,509,256	5,288,880	5,061,777
		うち	基本財産運用益			
		うち	受取会費			
		うち	事業収益	5,509,256	5,288,880	5,061,777
		うち	受取補助金等			
			うち受取国庫補助金			
_			うち受取県補助金			
般			うち受取市町村補助金			
正 正		経常費	用(B)	4,540,663	4,426,073	4,189,777
味		うち	事業費	2,548,637	2,441,568	2,342,749
財			うち公益事業費			
産増			うち給料手当			
増		うち	管理費	1,992,026	1,984,505	1,847,028
減			うち役員報酬	58,579	58,442	58,345
の 部			うち給料手当	842,659	864,830	829,072
미)		経常増	減(損益)額(C)=(A)-(B)	968,593	862,807	872,000
	経常	常外増減	の部			
		経常外場	又益 (D)	7,728,185	7,057,916	7,054,412
		経常外費	費用(E)	7,968,869	7,235,737	7,415,711
		経常外地	曽減額(F)=(D)-(E)	△ 240,684	△ 177,821	△ 361,299
	— 船	设正味則	産増減(当期損益)額(G)=(C)+(F)	727,909	684,986	510,702
	一舟	设正味財	産期首残高 (H)	16,376,838	17,104,747	17,789,733
			産期末残高 (I)=(G)+(H)	17,104,747	17,789,733	18,300,435
指		以補助金		0	0	0
増定		うち受取	国庫補助金	0	0	0
減正			地方公共団体補助金	0	0	0
の味		月指定正	味財産増減額(J)	0	0	0
部財	指定	正味財	達期首残高 (K)	0	0	0
産	指定	正味則	産期末残高 (L)=(J)+(K)	0	0	0
当期i	正味.	財産増減	咸額 (M)=(G)+(J)	727,909	684,986	510,702
正味	け産.	期首残	高 (N)	16,376,838	17,104,747	17,789,733
正味	け産.	期末残済	高 (O)=(M)+(N)	17,104,747	17,789,733	18,300,435

② 貸借対照表

	(107	内照衣	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	流重	助資産	558,757,953	519,114,491	504,703,005
		うち現金預金	19,934,572	19,311,128	19,091,338
	固定	を資産	3,625,396	3,641,904	3,621,393
資		基本財産	1,105,470	1,085,891	1,068,338
		うち土地	433,398	433,398	433,398
		うち投資有価証券	0	0	0
		特定財産	0	0	0
産		うち退職給与引当資産	0	0	0
		うち減価償却引当資産	0	0	0
		その他の固定資産	2,519,926	2,556,013	2,553,055
	資產	奎合計	562,383,349	522,756,396	508,324,398
		動負債	482,458,140	442,942,259	428,147,479
負		うち短期借入金	0	0	0
貝		うち未払金	0	0	0
		定負債	13,958,506	13,162,448	13,014,528
債		うち長期借入金	0	0	0
^		うち退職給与引当金	1,302,193	1,245,183	1,282,225
	負債	責合計	496,416,646	456,104,707	441,162,007
	指定	定正味財産	0	0	0
		うち基本財産への充当額	0	0	0
正味		うち特定資産への充当額	0	0	0
財	— 舟	投正味財産	65,966,703	66,651,688	67,162,391
味財産		うち基本財産への充当額	43,977,801	44,434,460	44,774,928
		うち特定資産への充当額	0	0	0
		未財産合計	65,966,703	66,651,688	67,162,391
負債	及び	正味財産合計	562,383,349	522,756,396	508,324,398